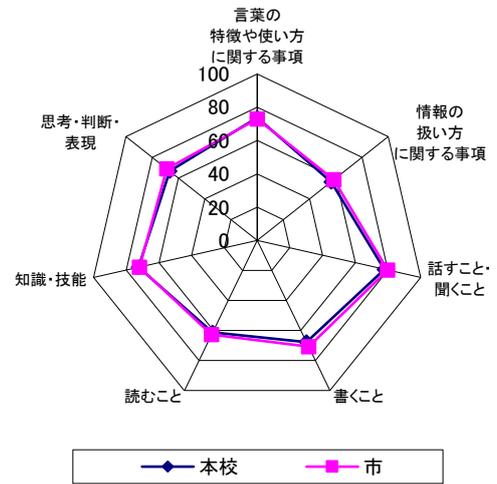


宇都宮市立桜小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	73.8	73.0	75.5
	情報の扱い方に関する事項	56.4	58.5	59.0
	話すこと・聞くこと	77.8	79.8	75.9
	書くこと	67.7	70.7	71.7
	読むこと	61.2	62.8	62.5
観点別	知識・技能	72.5	72.0	74.4
	思考・判断・表現	66.7	69.0	68.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	○三字の熟語の構成についての理解は市の平均を上回った。 ○尊敬語と謙譲語についての理解は市の平均を上回ったが、正答率は70%に達していなかった。 ●同じ読みの漢字の使い分けについての理解は正答率が33%と低く、市の平均よりも下回った。	・敬語についての学習は、定期的に反復して練習問題等に取り組むようにしていく。 ・日頃の漢字の読み書きの学習を継続し、漢字や言葉の問題への取り組みも継続していく。
情報の扱い方に関する事項	●情報と情報との関係について理解し、目的に応じて文章を簡単にまとめて書くことについては、市の平均を少し下回った。	・国語だけでなく、社会や理科等での調べ学習でも情報から分かることなどをまとめ発表する機会を継続して実施していく。
話すこと・聞くこと	○計画的に話し合い、考えをまとめるための司会者の工夫を捉えることについては、正答率が市の平均を上回った。 ●互いの立場を明確にしながら計画的に話し合い考えをまとめることについては、正答率が市の平均を少し下回った。	・国語だけでなく、学級活動での話し合い活動等でも互いの立場を明確にして進めることができるように指導していく。
書くこと	○段落の役割について理解し文章を書くことについては市の平均を上回った。 ●目的に応じて、文章を簡単にまとめて書くことについては、市の平均を下回った。	・物語や説明文の要約に継続して取り組むだけでなく、生活文などで時数を限定して書く機会も増やしていく。
読むこと	○物語の全体像を具体的に想像して読み取ることについては、正答率も87.4%と高く市の平均も上回った。 ●登場人物の心情について描写を基に読み取ることについては、市の平均を下回り正答率も17.9%と低かった。	・人物の心情を言葉や情景の変化から追う活動をこまめに取り入れ、言葉のもつ意味と人物の心情をつなげて考えられるように今後も指導していく。